

米子・境港間の高規格道路 地元懇談会

設立趣意書

米子・境港間の道路交通は、商業施設や物流施設などが集中している市街地を中心に交通が集中し、慢性的な交通混雑や交通事故が発生している。そして、高速道路や港湾・空港などの交通拠点へのアクセス性が低いなどの課題により、環日本海諸国・アジア諸国などとの経済活動や観光振興に対する広域交流のゲートウェイ機能が果たせていない状況となっている。

また、近年では、自然災害が激甚・頻発化しており、中国地方でも平成 30 年 7 月豪雨による甚大な被害が発生した。令和 2 年度には、九州地方を中心に豪雨が発生するなど、全国各地で地震、豪雨、雪害などの自然災害が多発しており、災害からの迅速な復旧と、早期の日常生活・経済活動の再開を見据え、被災後もすぐに機能する道路ネットワークの整備が求められている。

令和 2 年度に開催された中海・宍道湖圏域道路整備勉強会において米子から境港間については「計画の具体化に向けた検討を関係自治体と連携して実施する」とされ、令和 3 年度の国の予算概要では、「中海・宍道湖圏域について、関係自治体と協力し、機能軸強化に向けた検討を推進する」との方針が示された。

上記を踏まえ、これまでは行政主体で検討を行ってきたが地元が真に必要なとする高規格道路をあらゆる角度から幅広い検討を行うため、行政、商工、観光および学識経験者による「米子・境港間の高規格道路地元懇談会」を設立するものである。